

川崎臨海部産業競争力強化促進補助金の交付を決定しました

川崎市では、川崎臨海部に30年以上立地する企業の事業所の高度化・高機能化を目的とする設備投資を促進し、川崎臨海部の産業競争力を強化すること等を目的として、設備投資を行う場合に、補助対象経費の3%（研究所においては5%）の補助金を交付する、川崎臨海部産業競争力強化促進補助金の制度を令和3年度に創設し、運用しております。（令和8年度から補助対象事業を拡充）

この度、同制度に基づき、株式会社東芝[※]から申請を受け、事業計画について審査を行った結果、高電圧開閉装置の組立・試験ラインの増設などの事業の高度化により、産業競争力の強化が促進されるとともに、温室効果ガスの排出量削減及び本市への波及効果も期待できる投資であると認められたことから、令和8年8月6日付けで補助金の交付を決定しました。

なお、同制度に基づく交付決定は、これで8件目となります。

※申請日時点では、「東芝エネルギーシステムズ株式会社」であったが、令和8年4月1日に「株式会社東芝」に統合

1 今回の事業計画の概要

(1) 事業所名（所在地）

株式会社東芝 浜川崎工場（川崎区浮島町2-1）

(2) 事業内容

高電圧開閉装置の組立・試験ラインを増設するとともに、開閉装置と同時に受注する高圧ガス絶縁母線（GIB）の組立・試験ラインとして再構築し、生産能力と生産効率の大幅な向上を図るもの

(3) 事業着手日 令和 8 年 5 月 1 日

(4) 事業完了予定日 令和 1 0 年 2 月 1 日

(5) 投下固定資産額 4,079,261,950 円

(6) 補助金交付決定額 119,391,448 円

2 企業の概要

(1) 企業名・代表者名

株式会社東芝 代表取締役 社長執行役員 CEO 島田 太郎
（神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34）

(2) 資本金 201,449,000,000 円

(3) 創業 明治8年7月

(4) 業種 電気機械器具製造業

3 参考

(1) 川崎臨海部産業競争力強化促進補助金の概要 ※令和8年度からの見直しの内容については、別紙を御参照ください

<https://www.city.kawasaki.jp/590/cmsfiles/contents/0000127/127577/sangyo.pdf>

(2) 過去の交付決定一覧

交付決定事業者	交付決定額	交付決定日
日本冶金工業株式会社	69,939,501 円	令和3年 5月28日
日本冶金工業株式会社	311,532,152 円	令和4年 3月29日
株式会社日本触媒	93,028,800 円	令和6年 7月12日
三菱化工機株式会社	353,867,172 円	令和6年 7月30日
株式会社日本触媒	500,000,000 円	令和6年11月25日
日本ゼオン株式会社	500,000,000 円	令和6年12月10日
メビウスパッケージング株式会社	60,172,830 円	令和8年 3月30日

【問合せ先】

川崎市臨海部国際戦略本部事業推進部 田中
電話：044-200-0524（内線：42151）

臨海部における GX の早期実現を図るための支援等を強化

「川崎臨海部投資促進制度」をリニューアルします！

川崎市では、市民生活を支える川崎臨海部の持続的な発展に向けて、様々な取組を進めています。その取組の 1 つとして、川崎臨海部の産業競争力強化等を目的に、企業の設備投資や臨海部への進出を促進する補助制度（川崎臨海部投資促進制度）を運用しています。

この度、経済状況・社会情勢等の変化などを踏まえ、制度の見直しを行い、令和 8 年度から、臨海部における GX※1 の早期実現を図るための支援を強化するなど、**補助対象事業を拡充**します。

引き続き、本市の産業を支える本エリアにおける積極的な民間投資を誘導し、産業競争力強化や研究開発拠点の形成に向け、取組を進めてまいります。

令和 8 年度以降の川崎臨海部投資促進制度について

1 川崎臨海部産業競争力強化促進補助金

川崎臨海部における、企業による事業所の高度化・高機能化等を目的とした設備投資に対し、補助金を交付

【拡充のポイント】（令和 8 年 4 月 1 日以降の申請分から）

- ① これまで操業 30 年以上の製造業を対象としていましたが、**新規立地や操業 30 年未満**の製造業による設備投資等も対象とします。
- ② 業種や操業年数に関わらず、**「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想」※2 の推進に資する設備投資等※3**を新たに対象とし、本対象事業については、**最低投下固定資産額を 3 億円とします**（①は 20 億円）。

対象事業		投下固定資産額	補助率	補助上限額
①	製造業による設備投資等	20 億円以上	研究所：5% 事務所・工場：3%	5 億円
②	川崎カーボンニュートラルコンビナート構想の推進に資する設備投資等	3 億円以上	5%	

2 川崎臨海部研究開発機能強化補助金（イノバート川崎ネクスト）

川崎臨海部の中で戦略的に土地利用を推進する地域（キングスカイフロント及び南渡田地区※4）において、研究開発拠点の形成に資する研究所等の新設に対し、補助金を交付

【拡充のポイント】（令和 8 年 4 月 1 日以降の申請分から）

本補助金を活用して新設された賃貸型の R&D 施設に**入居するテナント事業者に対する補助制度**を新設します。

研究施設 整備支援 【既存】	対象事業	投下固定資産額	常用雇用者数	補助率	補助上限額
	自社で研究を行う施設を新設する場合	50 億円以上 (中小企業は 5 億円以上)	50 人以上 (中小企業は 10 人以上)	研究所：12% 事務所・工場：9%	20 億円
	賃貸型の R&D 施設を新設する場合	20 億円以上 (中小企業は 5 億円以上)	6%		
テナント 入居者支援 【新設】	対象者・要件			補助の内容	
	上記賃貸型の R&D 施設に入居するテナント事業者			入居後 5 年間、法人市民税（法人税割）又は、固定資産税（償却資産）相当額を補助	

※ 1 : GX（グリーン・トランスフォーメーション）について（経済産業省ホームページより引用）

日本政府では、産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をグリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体を変革すべく、エネルギーの安定供給・経済成長・排出削減の同時実現を目指す「GX（グリーン・トランスフォーメーション）」を推進しています。

※ 2 : 「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想」について

日本が 2050 年のカーボンニュートラル社会実現を目指す中で、川崎臨海部が社会経済状況の変化や社会的要請に適切に対応し、日本のカーボンニュートラル化を牽引するモデル地域になるとともに、2050 年以降も企業等に選ばれ続け、産業競争力のあるコンビナートであり続けるよう、あるべき将来像とその実現に向けた戦略を示すため、2022 年 3 月に策定したものです。

2050 年の将来像の実現に向け、効果的に取組を進めるため、中長期的な取組の方向性を定める「将来像を実現する戦略」として、①川崎水素戦略、②炭素循環戦略、③エネルギー地域最適化戦略と定め、取組を進めています。

＜川崎カーボンニュートラルコンビナート構想について詳しくはこちら＞

<https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/57-1-17-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

※ 3 : 「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想」の推進に資する設備投資等について

次の設備投資等を行う場合を補助対象とします。

- (1) 水素、アンモニアを燃料とすることができる発電設備の新設、増設又は更新
- (2) バイオマスを燃料とする発電設備の新設、増設又は更新
- (3) 水素を燃料とすることができるボイラー及び燃焼機器の新設、増設又は更新
- (4) 水素製造設備及び S A F・合成燃料製造設備、燃料電池設備の新設、増設又は更新
- (5) 水素貯蔵所、水素ステーション等、水素及び水素化合物に係る供給設備の新設、増設又は更新
- (6) プラスチックごみの高度選別に係る施設・設備、ケミカルサイクル（油化・ガス化）設備の新設、増設及び更新
- (7) 二酸化炭素の回収・貯留・再利用化に係る設備の新設、増設又は更新
- (8) 水素及び二酸化炭素等の配管並びにその附属設備の新設、増設又は更新

※ 4 : キングスカイフロント及び南渡田地区について

【キングスカイフロント】

キングスカイフロント（KING SKYFRONT）は、殿町地区（羽田空港の南西、多摩川の対岸）に位置する、世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点です。

＜キングスカイフロントについて詳しくはこちら＞

<https://www.king-skyfront.jp/>

【南渡田地区】

南渡田地区において、クライメートテック分野への社会実装をゴールとした「マテリアルから世界を変える産業拠点」の形成を目指した段階的な開発を推進しています。

同地区の北地区北側では、先行的に大規模賃貸型 R & D 施設の整備を進めており、令和 9（2027）年度のまちびらきに向けた取組が進捗しています。

＜南渡田地区について詳しくはこちら＞

<https://www.city.kawasaki.jp/590/page/0000117648.html>

【参考】川崎臨海部投資促進制度の見直し等について

<https://www.city.kawasaki.jp/templates/pubcom/cmsfiles/contents/0000181/181590/sannkou.pdf>

【問合せ先】

川崎市臨海部国際戦略本部事業推進部 田中
電話 0 4 4 - 2 0 0 - 0 5 2 4